

古町地区

(新潟県新潟市)

- 計 画 期 間 平成 18 年度～平成 22 年度
- 面 積 353 h a
- 交付対象事業費 2,848 百万円
- 市人口 776,468 人

ポイント

湊まちの歴史・文化を活かした、便利
で回遊性の高いまちづくり

地区概要

湊まちとしての歴史や文化を活かした、歩いて楽しいまちづくり、中心市街地のメリットを活かした、便利で快適な回遊性の高いまちづくりを進めている。

目標

地区内の回遊性・快適性・利便性を高め、湊まち新潟の歴史と最先端の文化・情報を同時に楽しむことが可能な、人々が集い賑わう交流空間の創出。

指標

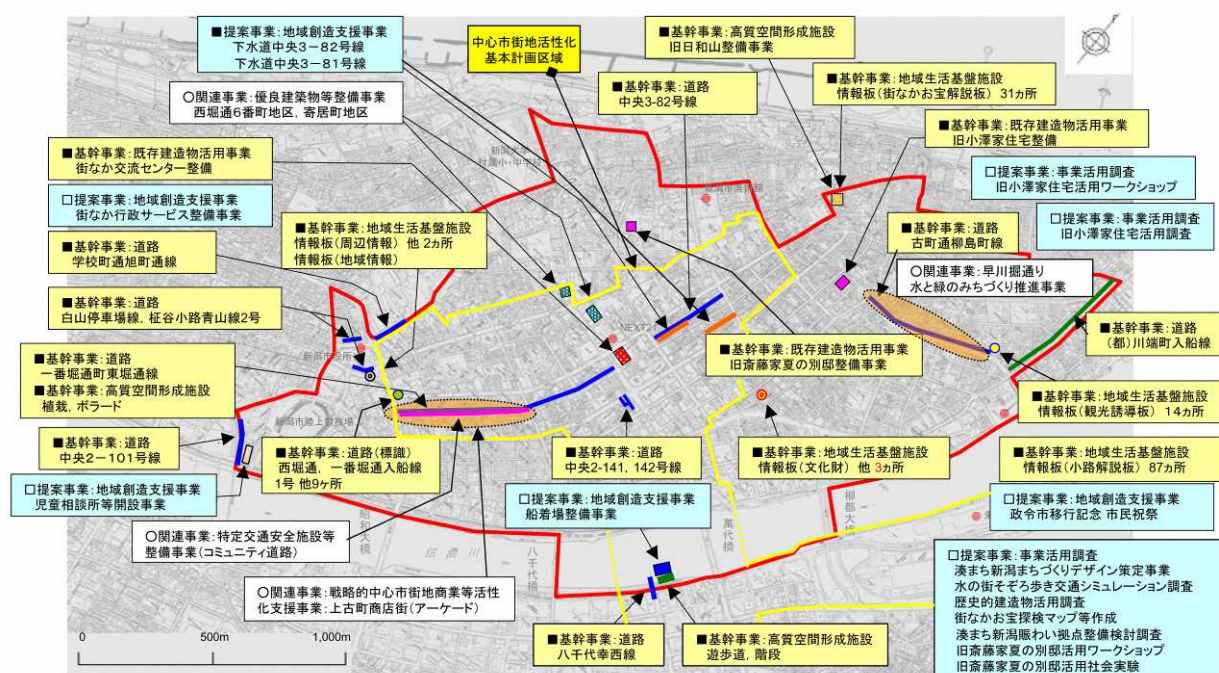
来街者数の増加が商店街振興や民間投資誘発の端緒になることから、目標として設定している。

指 標	従前値	目 標 値	実績値
商店街歩行者通行量	38,892 (H17) →	40,800 (H22) →	35,000(H22)
歴史施設入館者数	170,458 (H17) →	187,500 (H22) →	145,000(H22)
交流系施設利用者数	122,186 (H17) →	134,400 (H22) →	175,000(H22)

事業内容

基幹事業（2,713百万円）→ 道路（10路線、延長2,737m、道路標識10基）、情報板（140ヵ所）、まちなか交流施設（1ヵ所）、旧小澤家住宅整備、旧斎藤家夏の別邸整備【観光交流】（2ヵ所）、やすらぎ堤整備、旧日山周辺整備

提案事業（ 393 百万円）→ 児童相談所（1 カ所）、防災船着場（1 カ所）、古町行政サービスセンター（1 カ所）、下水道整備（2 カ所）、政令市移行記念イベント、シャトルバス運行社会実験、観光ボランティア育成、旧小澤家および旧斎藤家住宅活用検討・ワークショップ、湊まち新潟賑わい拠点施設整備検討、街なかお宝マップ作成、新潟まちづくりデザイン策定 他

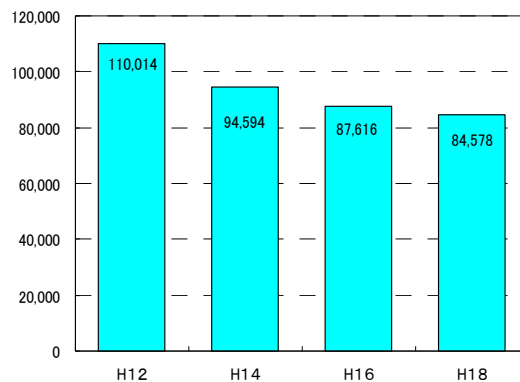


地区の現況と課題

- 歩行者通行量、商業販売額等が年々減少しており、まちの賑わいが失われつつある。
- 町家や街並みなど湊まちとしての歴史や文化を象徴する風景が消えつつあり、都市の記憶を失いかけている。

「政令市新潟の顔として相応しい賑わい、活気溢れる都心の形成と、湊まち新潟を実感できるような、個性豊かなまちづくりの推進」

古町周辺地区歩行者通行量の推移



提案事業の特徴

まちなか行政サービスコーナーの設置

中心商店街に立地する百貨店の2階に住民票など各種証明書を交付する窓口を開設。土日祝日でも利用できる利便性の良さから、開設半年で1万8千件の利用があり、周辺商店街への経済波及効果も発現している。また併設する子育て応援広場（プレイルーム）には1日平均100人以上が訪れ、今までなかったまちなかの「遊び場」として、新たなまちの魅力創出に繋がっている。



まちなか行政サービスコーナー

「点」から「線」へのまちづくり

計画立案の際、本地区内の回遊ルートを想定し、土木、観光、商業、歴史文化等の各セクションで取り組むことを立案した。その結果、各事業が「点」ではなく「線」で結ばれ、まちの中に物語性や連続性、一体感の創出などが図られた。



親子連れで賑わうプレイルーム

計画策定プロセス

市民円卓会議の設置

計画策定にあたっては、学識経験者、地元商業者、TMO、まちづくり団体、観光コンベンション協会、ホテル関係者等から成る「市民まちづくり円卓会議」を設置し、コンセプトの検討や事業のアイデア出しを行った。計画策定後も新規事業の検討や団体間の連絡調整機能などを担っている。



小路解説板

庁内ワーキンググループの設置

市役所庁内においては歴史、商業、観光、土木等の関係8課による検討ワーキングを設置し、新規事業の検討、整備計画の進捗管理などを行っている。



小路解説板と連動した「小路めぐりマップ」